

議事概要

会議の名称	令和6年度第1回三田市総合教育会議
開催の日時	令和7年2月19日（水）14時00分～15時45分
開催の場所	三田市役所本庁舎3階庁議室
出席した委員の氏名	田村克也市長、鹿嶽昌功教育長、大野裕己教育委員、中野文雄教育委員、三木尚美教育委員、ルーベッシュ裕子教育委員
出席した職員の職及び氏名	〈事務局〉 横溝市民生活部長、辻下市民生活部次長、下山文化スポーツ課長、畑文化スポーツ課副課長、浅野学校教育部長、外岡学校教育部担当部長、井上教育総務課長、田中学校教育課長、松本子ども・未来部長、喜多子ども・未来部次長、神影子ども育成課長、藤田幼児教育振興課長、亀島幼児教育振興課副課長、松下子ども政策課長、西子ども政策課係長、山田子ども政策課主任、谷本子ども政策課職員
傍聴人の人数	1名
議題	(1) 学校部活動地域移行・展開の取組について (2) 三田市いじめ問題再調査委員会の設置について (3) 三田市立幼稚園再編計画の進捗状況について
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	本日の次第、座席表、出席者名簿 【資料1】 学校部活動地域移行・展開の取組について 【資料2】 三田市いじめ問題再調査委員会の設置について（報告） 【資料3】 三田市立幼稚園再編計画の進捗状況について
連絡先	子ども・未来部 子ども政策課 電話（079）559－5079

会議経過

1. 開会

【喜多次長の司会により開会、配付資料の確認等】

【傍聴者1名】

【議事進行を田村市長に交代】

【市長挨拶】

2. 議事

(1) 学校部活動地域移行・展開の取組について

(下山課長から説明) … 資料1

田村市長：地域の方々の協力を得ることができれば、素晴らしいと思います。例えば、高校の部活動にも地域クラブに協力いただくことで、中学生のうちから幅広い分野の部活動に参加できるようになるなど、可能性が広がることを期待しています。

大野教育委員：地域の組織や人材、専門性のある方々が指導に入ることによって、更に子どもの資質能力等が養われることを望んでいます。その上で、指導者が、子どもの発達段階に応じた適切な指導について研修を受けることは必要不可欠であると思います。また、地域の団体や指導者の方々が交流できるような機会を確保するなど、指導者が育つ環境づくりを検討いただけると幸いです。

下山課長：今後、高校・大学や民間事業者などへの声掛けについて、多くの方に携わっていただき、分野も広げていきたいと考えているところです。また、より良い地域クラブ設置のためには、地域の団体・指導者の方々の交流・意見交換や研修も必要であると考えています。

中野教育委員：特色のある教育を行っている高校・大学や、既存のカルチャースクールといった地域にある教育力を集結させ、多様な分野の部活動が展開できれば良いと思います。部活動の地域移行は、三田市全体で子どもを育てるきっかけとなり、まちづくりにも大きく寄与すると考えます。地域クラブで培ったものを生かし、卒業してからも指導者として三田市に貢献するような、理想的な循環が生まれることを期待します。

田中課長：今の部活動にはない分野の活動を地域で実施し、子どもたちが心から希望する活動へ参加できるようにすることは、将来の夢を見つけるきっかけや、携わったクラブに指導者として戻ってくるきっかけになり得るなど、大きな意義があると考えます。三田の子どもたちが生涯にわたって地域で活動ができるよう、持続可能な取り組みを進めたいと

考えます。

ルーベッシュ教育委員：異なる世代の方々と交流する機会がなかなかないので、地域クラブ移行が、地域の大人に出会える機会となることを楽しみにしています。選択肢が増えることで、生きる楽しみを見つけるきっかけも増えると思いますが、文化系と体育会系など、複数のクラブへの所属は可能でしょうか。

下山課長：地域クラブでは、複数クラブへの所属が可能になります。現在は、地域クラブの対象を中学生とさせていただいておりますが、将来的には全世代を対象に実施し、交流することによって、子ども達が大人になった時に指導者として戻ってくるきっかけになることも考えられますので、今後検討する必要があると思っています。

田村市長：現在、文化部と運動部を兼ねることは可能でしょうか。

田中課長：学校の中で、複数の部活動を兼任することはできません。

三木教育委員：今後、部活動の選択肢が増えるということは良いことだと思います。支援の必要な子どもの中には、「部活動への参加は難しい」と決めつけてしまい、最初から参加しない子どもがいます。支援の必要な子どもたちが参加できるよう、環境整備や、指導者に向けた共生社会等に関する理解促進の研修などを取り入れていただきたいと思います。どうすれば参加できるか、可能な限り前向きに考えてもらえるような、最大限のサポート体制の検討をお願いします。

田中課長：現在の学校部活動においても、支援を要する生徒、保護者、顧問、学級担任等が、活動に際しての合理的配慮や、参加可能な部活動について話し合うなど、工夫して取り組んでいるところであり、地域移行後も同様に進めていきたいと考えています。また、これまで学校部活動になかったパラスポーツの実施が可能になれば、より良い交流の機会になると考えます。

田村市長：地域移行によって部活動の選択肢が増えることは、生徒や保護者の方々の希望にもなると思いますので、本日いただいた御意見を含めて、事務局で整理しながら運営してまいります。

(2) 三田市いじめ問題再調査委員会の設置について

(神影課長から説明) … 資料2

鹿嶽教育長：全国では、学校や教育委員会が実施した調査について、保護者が市長に再調査を依頼するケースがありました。再調査の依頼があった後に、議会への条例提案や、調査委員の選任といった組織の立ち上げを行っているため、時間もかかるため、本市でもあらかじめ条例を設置し、速やかに調査にかかることを可能にしました。このような仕組みは作られたものの、決して動かすようなことはあってはならないと考えます。

田村市長：教育長の言う通り、この仕組みは、決して動かすようなことがあってはならないと思っております。日頃から丁寧にフォローやケアしていただいていると感じておりますが、万が一、再調査すべきケースが見受けられた際には早急に対応できるよう、備えていただきたいと思います。

(3) 三田市立幼稚園再編計画の進捗状況について
(藤田課長から説明) … 資料3

鹿嶽教育長：保護者の方々は、みつば幼稚園の開園に至るまで不安に感じたこともあったと思われませんが、実際に開園した現在、保護者や地域の方々はみつば幼稚園にどのような思いを持っておられるでしょうか。

藤田課長：「建物が新しくなり、明るく、きれいな環境で子どもたちが安全に育つことができる。大人数の保育ならではの学びもあり、この認定こども園を選んでよかった」など、前向きなお声をいただいています。また、地域の方々にみつば幼稚園に出向いていただいたり、みつば幼稚園から地域や小学校に出向く中で交流を深め、閉園した園区の地域の方にも温かく見守っていただいています。

鹿嶽教育長：後ろ向きな意見はなかったのでしょうか。

松本部長：地域の方々との交流でいいですと、事前に日時等を調整した上でみつば幼稚園に来ていただいております。地域の方々が「今日こんなことがあったからみつば幼稚園に行ってみよう」と気軽に来ていただくことができる状況ではないので、特段お叱りの声があったわけではないですが、寂しさを感じられている部分がないとは言えないと思います。だからこそ、地域の方々とつながる機会を定期的に設ける必要があると考えています。

中野教育委員：閉園後の建物について、部活動の拠点などに活用できないでしょうか。

藤田課長：閉園後の建物等の活用については、地域活性化に役立つよう引き続き地域の方々と協議し、検討していきたいと思っております。

大野教育委員：こども園２園開所までこぎ着けられたのは、市がこれまで丁寧に整備されてきた結果だと思しますので、引き続き、教職員等の確保や、子どもや保護者の負託に応える保育をお願い致します。また、各園と事務局とも連携して、新しい市立こども園も情報発信の拠点となり、市の幼児教育の研究などが更に発展することを期待しています。

藤田課長：幼児教育のセンター的機能の充実として、三田市の公立幼稚園が中心となり、研究成果を広く市域の就学前施設に発信し生かしていけるよう、継続して取り組んでまいります。

三木教育委員：新しい幼稚園ができることは良いことだと思います。保護者や地域の方々とのつながりを大切に、新たなコミュニティができていくことを期待しています。

藤田課長：地域における就学前の拠点として、保護者や地域の方々をつなぐことができるよう、取り組んでまいります。

田村市長：先日、小野幼稚園と高平幼稚園の閉園式に参列しました。新たなコミュニティに参加することに不安を感じる方もいらっしゃると思いますが、地域のつながりが広がるプラスの材料にもなり得ると感じています。市が引き続き伴走し、つないでいきたいと思えます。